

「高校生向け高性能林業機械基本操作研修会を開催しました」

1 はじめに

林業技術センターでは、県内の林業関係学科で学ぶ高校生を対象として、林業の機械化について学習・体験する「高性能林業機械基本操作研修会」を7月31日に開催しました。

2 研修の目的

この研修会の目的は、林業を学んでいる生徒さん方に高性能林業機械の操作体験などを通じて3Kとも考えられている林業の作業現場へのイメージの改善を図っていただくとともに、進路検討の際に林業への就業を積極的に選択してもらい若い新規就労者を増やすことです。

3 研修の内容

研修会には、盛岡農業高等学校環境科学科2年生21名と久慈東高等学校総合学科2年生14名に参加していただきました。

当日は、森林・林業や高性能林業機械の概要について室内講義を行った後、当センター機械研修コースで機械の操作を体験しました。

今回使用した機械は、プロセッサ、不整地運搬車、フォワーダの3種類です。講師は、機械メーカーの指導担当者や林業技術センターの職員が務めました。プロセッサでは、丸太の移動、材送り、切断などの操作を行いました。不整地運搬車では、場内のコースを走行しました。フォワーダでは、地面に置いてある丸太を掴み一度荷代に載せてから再び降ろすなど、基本的な操作を行いました。

4 研修の感想

最初は、初めての機械操作に戸惑っていましたが、講師の指導を受けながら操作を続けるうちに慣れたようで、最後は皆が見事に乗りこな

していました。

研修終了後には、「操作が楽しかった。」「思ったより簡単だった。」「全ての機械が初体験。学校ではできない貴重な授業だと思う。見た目は難しそうだが、講師の方々が丁寧に指導してくださったこともあり、実際に体験してみたらそれ程難しいとは感じなかった。これからもどんどん機械操作体験に挑戦していきたい。」など大変意欲的な感想が沢山寄せられました。

講師からも、「若いせいかわ、機械に慣れるのが早い。」「素直に指導を受け入れるので、上達が早い。」との評価が聞かれました。

5 おわりに

今回の研修を通じて、少しでも多くの生徒さんが、林業に興味を持ち、将来の岩手の林業を背負って立つ人材が生まれることを切に期待したいと思います。



【オリエンテーション】



【講師の説明に集中する生徒(フォワーダ)】